和歌山県立向陽高等学校

号外

ＳＳＨニュース

発行日：Ｈ２７．４．７
編　集：ＳＳＨ事務局

向陽高等学校・中学校は、平成23年度よりスーパーサイエンスハイスクール（５年間）の再指定を受け、最終５年目の活動になります。

ＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）とは？

平成14年度より文部科学省は未来を担う科学技術系人材を育成することをねらいとして、理数系教育の充実を図る「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業」が始まりました　。SSH指定校では、科学技術や理科・数学教育を重点的に行い、「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層伸ばす教育が展開されています。また、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成のため、大学や研究機関とも連携して魅力的なカリキュラムや指導方法の研究も行っています。向陽高等学校・中学校は、平成23年度より新たに5年間の指定を受け、理数教育がさらに発展するよう様々な取組を進めてきました。今年度は最終年度となり、5年間の集大成となる活動等を行う予定です。

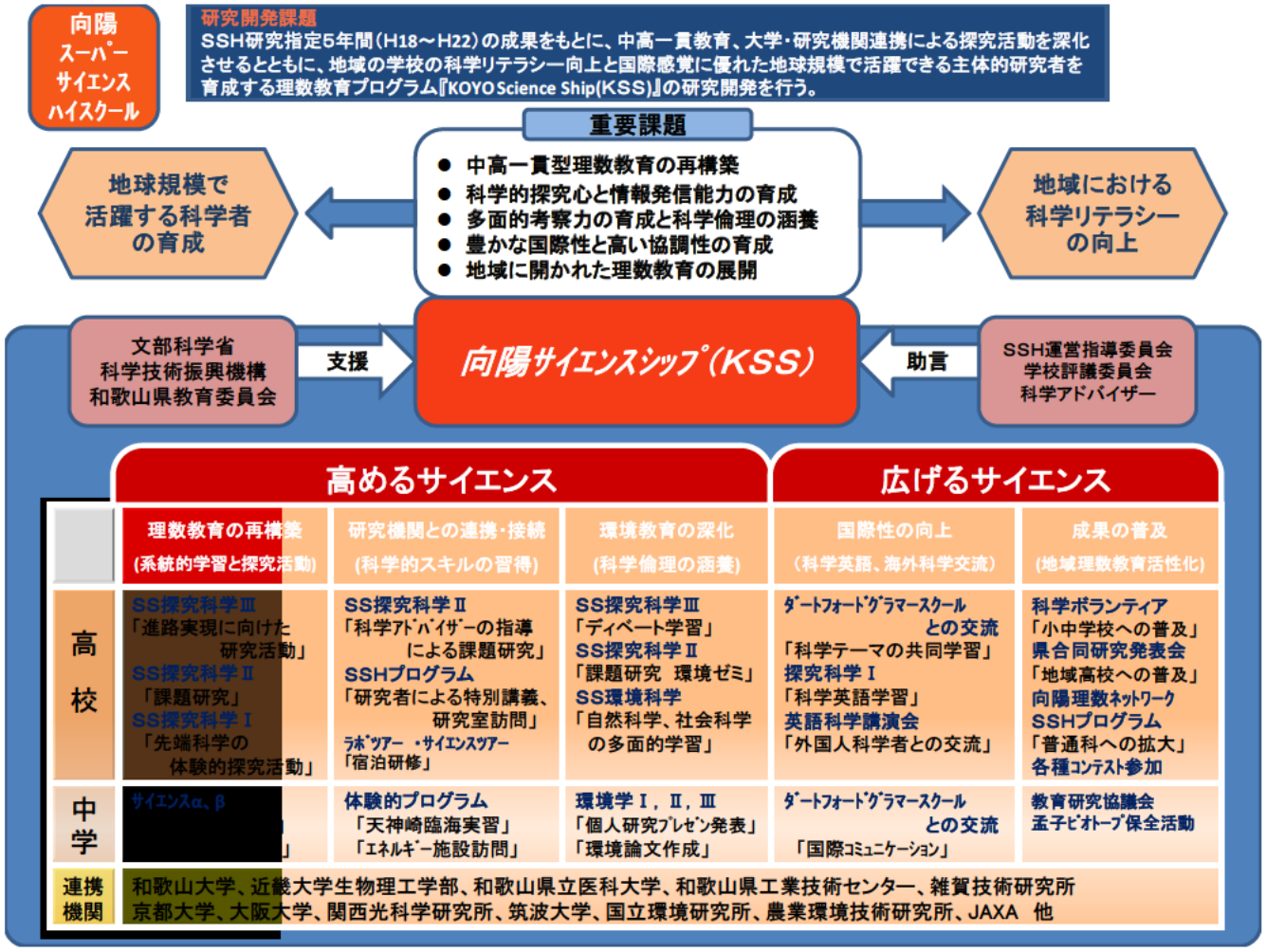
本校のスーパーサイエンスハイスクールの取組は？

向陽高等学校・中学校のスーパーサイエンスハイスクール事業では、高校環境科学科を中心に、向陽中学校や高校普通科第2学年理系も対象として、以下の研究開発課題に取り組み、「中高一貫教育を中心とした高度で専門的な探究力を持つ科学者育成『高めるサイエンス』」と「国際コミュニケーション能力の育成と地域の学校の科学リテラシー向上『広げるサイエンス』」の2つのコンセプトで『向陽サイエンスシップ（KSS）』を展開していきます。

生徒の様々な探究活動より得られた研究成果をコンテストや学会で積極的に発表することを本校生徒に期待しています。

SSH事業の助成金により、普通の学校ではできないことが可能になります。

- 専門器械の購入による実験の充実
- 大学・研究機関への訪問（研究室訪問）
- 第一線で活躍する科学者による講演会や授業（実験講座、先端科学講座）
- 全国SSH指定校との交流



４月から、ＳＳＨ関連行事が始まります。詳しいことは、ＳＳＨニュースで紹介していきます。